



無垢の木を多用し、高い断熱性と相まって心地よく過ごせる空間に仕上がっています。TV台やキッチン収納、カウンターなどは施主の暮らしに合わせて設計し、大工が手づくりで制作しました。LDKから庭につながるウッドデッキが外との連続性を高めます

建築費用
3,200万円台
(坪単価100万円台)

助成金
50万円
建物全体 50万円
太陽光発電 なし

変形した敷地や北側斜線など、制限の多さを逆手に取り、豊かな空間をつくり出しています。周囲には緑が多いため、南にリビングとウッドデッキと庭を設け、日々の暮らしの中で外とのつながりを感じられるプランを計画。斜線制限で屋根が低くなった部分は、テレワークのためのスペースとして有効活用されています。

壁はグラスウール充填、屋根・基礎はフェノールフォーム（玄関土間のみ押し出しかポリスチレンフォーム）、開口部も樹脂サッシをペアガラスにすることでHEAT20・G2(UA値0.46W/m²K)を超える断熱性を実現しています。庇は日射を制御するために有効ですが、敷地条件上十分な軒の出を確保するのが難しいため、小庇に加え、2階のバルコニーにも庇の役割を持たせています。

暖冷房は壁掛けエアコンを1階と2階に1台ずつ設置。2階は階段室の上部に配置し、冷房期にはエアコンからの風が階段を通じて1階にも回ります。1階のエアコンは床下に暖気を送り、床暖房のように床から室内を暖めます。施主が必要に応じてサーキュレーターなどを使えば、家じゅう十分に快適な室温を保てる想定です。

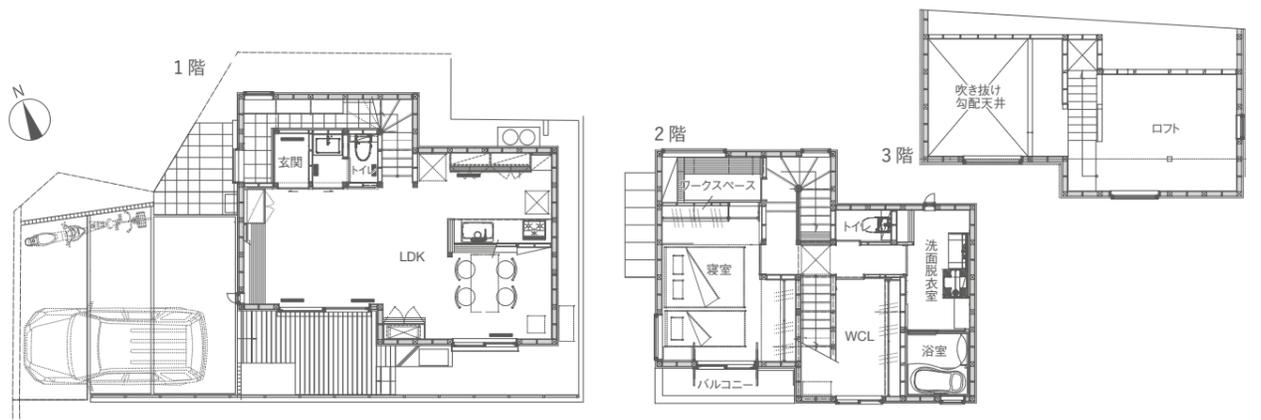
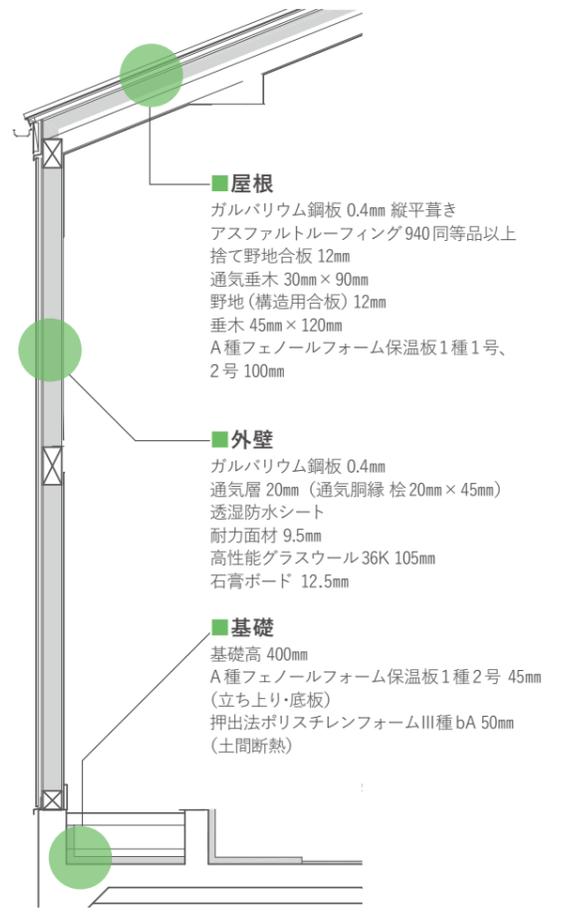
特別な仕様・施工でなくても水準2は達成できる

弊社で採用している断熱材や窓は、広く普及しているものばかり。付加断熱もなく、とても導入しやすい仕様で水準2をクリアできました。夏場は、お施主様がすだれをかけることで強い日射を遮れるよう窓の上に小庇をつくり、冬場は逆に日射熱を最大限取り込めるよう、南面だけガラスを日射取得型にしています。また、少ない台数のエアコンで家全体を空調するための工夫として、建具は基本的に引き戸に。戸を開け放しにすれば、個々の部屋にエアコンを設置しなくても済みます。



設計者の言葉
岡庭建設(西東京市)
設計Nチーム チーフ
秋吉 美沙紀さん

[建物の断熱仕様]



DATA

[建築概要] 設計・施工：岡庭建設株式会社(西東京市) 建設地：東京都武蔵村山市 竣工：2023年3月 敷地面積：111.71㎡ 延床面積：88.08㎡ 構造：木造2階建て	[断熱仕様] 屋根断熱：フェノールフォーム100mm厚 壁断熱：高性能グラスウール36K105mm厚(フィルム付) 基礎断熱：フェノールフォーム45mm(基礎内) UA値：0.42W/m ² K η AH値：1.4 η AC値：1.5 C値：0.8cm ² /m ² 窓：LIXIL EW(樹脂サッシ・ペアガラス) 玄関ドア：LIXIL エルムープ2(熱貫流率1.90W/m ² K)	[設備仕様] 空調：壁掛けエアコン2台(5.0kW) エネルギー消費効率の区分：(い) エアコンの省エネ基準(2010年)達成率：☆☆☆☆ 換気：第三種換気 給湯：潜熱回収型ガス給湯器 節湯水栓：台所=C1、浴室=A1・B1、洗面所=C-1 照明：全室LED 再エネ設備：なし BEI：0.65
---	--	---

